

オーストラリア・シドニーでWell-being 配慮のプレミアムオフィス開発事業 「Parkline Place」に参画

三菱地所株式会社

2021年11月01日

三菱地所株式会社は、オーストラリアを含む世界主要都市で豊富な開発実績を持つ不動産会社であるOxford Properties Group およびその子会社のInvesta とともに、オーストラリア・シドニーでWell-beingに配慮したプレミアムオフィス開発事業「Parkline Place」に参画します。本事業はシドニーの鉄道会社Sydney Metro が主導する新駅「Pitt Street」の開発事業、Oxford Properties Group が進める「Pitt Street South」の賃貸住宅棟開発事業と三位一体で進められる大規模複合開発の一部です。

「Parkline Place」は、地上39階・地下5階建て、貸付有効面積約47,800 m²のプレミアムグレードオフィス（基準階面積：約1,500 m²）と商業機能を擁するプレミアムオフィス開発事業です。世界最大規模の設計事務所である「foster + partners」が設計・デザイン監修を務めており、2021年11月着工、2024年1月の竣工を予定しています。

本計画地は、シドニーCBDの中心部のオフィス・商業が融合した活気のあるエリアに位置しています。2024年の開通に向けて現在インフラ工事が進められているSydney Metroの新駅「Pitt Street」に直結する駅上開発です。また、本計画地はCBD随一の公共緑地「Hyde Park」やシドニーのランドマークとも言える商業施設「Queen Victoria Building」等に近接しており、ワークライフバランスの観点においても稀少性の高い立地であることから、多くのグローバル企業やIT企業が集積しているなど堅調なオフィス需要が見込まれています。なお、本オフィスでは、ワーカークラスの能力を最大限引き出すため、「ワークライフマネジメントサービス」や「マインドフルネスサービス」、「パーソナルヘルスサービス」など、さまざまなWell-beingに配慮したサービスを提供する予定です。



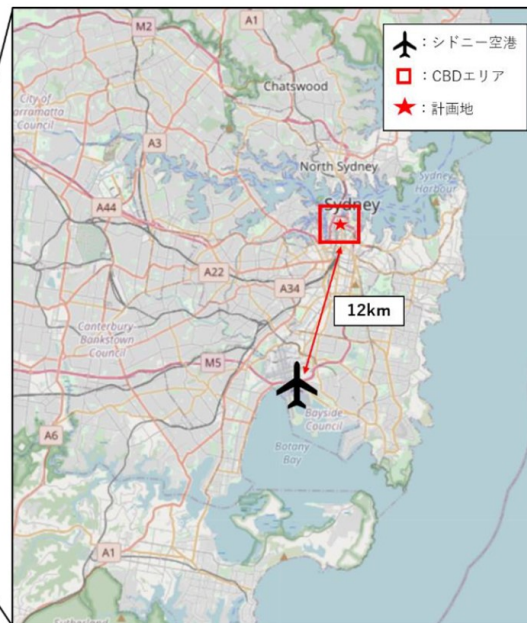
▲本物件外観

オーストラリアは今後も安定した成長の継続が見込まれる有望なマーケットであり、アジア・オセアニアにおける事業展開の重要拠点の一つとして位置づけています。本プロジェクトにおいて競争力のあるオフィスビルを提供することで、オーストラリアでのプレゼンスの向上と、海外事業全体の更なる成長を目指してまいります。

■プロジェクト概要

名称：	Parkline Place
事業シェア：	Oxford Properties Group : 75%、三菱地所 : 25% (Investa は開発ならびに建物管理を担当)
所在地：	オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州シドニー市 ミッドタウン
アクセス：	シドニー空港から約 12km、Pitt Street Station 直結 (2024年開業予定)、Town Hall Station 徒歩1分
規模：	地上 39階、地下 5階 (高さ：約 177 m)
構造：	SRC
用途：	オフィス・商業・駐車場
敷地面積：	約2,500,500㎡
延床面積：	約65,95,900㎡
貸付面積：	オフィス：約47,800㎡、商業：約1,285,285㎡
施工：	CPB Contractors
デザイン監修：	foster + partners
設計：	foster + partners
運営管理：	Investa
着工：	2021年11月
竣工：	2024年1月

■物件所在地



▲広域



〔参考 ①〕 「Parkline Place」 の周辺開発事業 について

本事業は、シドニーの鉄道会社 Sydney Metro が主導する新駅「Pitt Street」の開発事業、Oxford Properties Groupが進める「Pitt Street South」の賃貸住宅棟 開発事業と 三位 一体で進められる大規模複合開発 です。新駅「Pitt Street」はオフィス「Parkline Place」と賃貸住宅「Pitt Street South」を地下で繋ぐ形で開発 が進められており、本計画と の同時 竣工を予定しております。



▲ 「Parkline Place」 周辺開発事業 位置関係図

〔参考 ②〕 共同事業会社 について

<Oxford Properties Group>

- ・カナダ・オンタリオ州トロントを本拠とする1960 年創業の総合不動産会社
- ・世界主要都市（拠点はニューヨーク、ロンドン、シンガポール、ルクセンブルク）で事業を展開
- ・ニューヨーク・マンハッタン西岸の大規模プロジェクト、 Hudson Yards にも参画 実績をもつ

<Investanvesta>

- ・オーストラリア・シドニーを本拠とする 2000 年創業の不動産会社
- ・オフィスアセットの開発・保有・管理に特化したビジネスを同国内主要都市で展開
- ・26 棟のビルを保有・管理 しているほか、手掛ける開発案件への評価は高く、グローバルにビジネスを展開する企業が多数同社開発物件へ入居

〔参考 ③〕 オーストラリア における事業

「Melbourne Quarter East Tower」



- ・三菱地所及び三菱地所レジデンスがオーストラリア・メルボルン中心部で推進する住宅開発事業
- ・オフィス 3 棟、住宅 3 棟の大規模複合開発「Melbourne Quarter」プロジェクトの住宅第一弾案件

所在地：オーストラリア・メルボルン
建物用途：住宅
延床面積：約58,730㎡
総戸数：719戸
着工：2017年
全体竣工：2020年7月

「180 George St. (Circular Quay Tower)」



- ・オーストラリア・シドニーにおける超高層オフィスビル開発
- ・オフィスビルに加え、商業施設棟・公共施設棟や広場を含む複合開発

所在地：オーストラリア・シドニー
建物用途：事務所、店舗、公共施設、広場
貸付有効面積：約55,000㎡
着工：2018年
竣工：2022年（予定）

「One Sydney Harbour Residences One」



- ・オーストラリア・シドニーのBarangarooエリアにおける大規模住宅開発事業
- ・住戸の多くでオペラハウスやハーバーブリッジ等を望むことができる

所在地：オーストラリア・シドニー
建物用途：住宅・店舗・駐車場・公共施設
着工：2020年6月
竣工：2024年初旬（予定）

「One Sydney Harbour Residences Two」



- ・オーストラリア・シドニーのBarangarooエリアにおける大規模住宅開発事業
- ・住戸の多くでオペラハウスやハーバーブリッジ等を望むことができる

所在地：オーストラリア・シドニー
建物用途：住宅・店舗・駐車場・公共施設
着工：2021年3月
竣工：2024年（予定）

以上